

各施設・事業所の長 様

社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会
事務局長 鈴木智行

令和3年度社会福祉援助技術ステップアップ研修の実施について（通知）

本会事業の推進につきましては、平素より格別の御支援と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび標記研修を下記のとおり開催いたしますので、該当する職員の参加について御配慮くださいますようお願いいたします。

記

1 研修名等

社会福祉援助技術ステップアップ研修
(令和3年度研修 No. 12)

2 研修方法

Webによるオンライン研修 (Zoom を利用した双方向コミュニケーション研修)

3 研修の内容

別添の開催要領を御参照ください。

4 申込方法

本会ホームページ[埼玉県社会福祉協議会 研修・試験の福祉の研修](#)へ進み、該当する研修のページよりお申し込みください。

※受付完了後、確認メールが届きますので、必ず御確認ください。

※申込期間内の変更やキャンセルはホームページから手続きをお願いします。



↑こちらからも
アクセス可能です

5 お問い合わせ先

埼玉県社会福祉協議会 研修開発部 福祉研修課 (担当: 小坂)

TEL: 048-822-1190 email: kosaka@fukushi-saitama.or.jp

令和3年度社会福祉援助技術ステップアップ研修 実施要領

1 目的

人々の性格が異なるように、援助やサービスを利用する人々の暮らしも個別的で、多様な生活課題を抱えています。社会福祉施設等の職員が、日々の援助に用いる技術（ソーシャルワーク）を磨き、実践していく（社会福祉援助技術）ことはクオリティの高い福祉サービスの提供につながります。

本研修は、多職種の職員に向けて行う相談援助者としてのプレゼンテーション技法や、面接における基礎的な傾聴技法に加え積極技法を学び、グループ演習を通じて技術の向上を図ることを目的とします。

2 主催

社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会

3 対象者

次の（１）、（２）の双方に該当する方で、（３）または（４）のどちらかを満たす方が対象となります。

- （１）社会福祉施設（高齢・障害・児童・保育）及び市町村社協の職員であり、相談援助業務を担当している職員。（おおむね3年～7年の中堅職員向けの研修内容）
- （２）2日間参加可能な方。
- （３）社会福祉援助技術基礎研修（平成27年度までは社会福祉援助技術研修）を受講している方。
- （４）基本的傾聴技法（かかわり行動、質問技法、観察技法、はげまし・いいかえ・要約技法、感情の反映技法）を予習して参加できる方。

※本研修は、「埼玉県主任介護支援専門員更新研修」の受講要件に該当します。

4 研修方法等

Webによるオンライン研修（Zoomを利用した双方向コミュニケーション研修）

5 定員

40名

6 講師

日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 保正 友子 氏

7 研修内容

	内容
1日目	・プレゼンテーションとは何か ・プレゼンテーションの実施 ・傾聴の連鎖
2日目	・積極技法 ・対決技法

8 申込および参加費等

(1) 申込

- ・定員以上の申込があった場合は調整いたします。
- ・個人単位での申込を承ります。

(2) 参加費

- ①本会会員事業所（または個人） 10,000円
- ②非会員・賛助会員事業所（または個人） 20,000円
- ※1 本会会員区分は事業所単位です。（法人単位ではありません）
- ※2 会員事業所区分でのお申込みの際は会員番号証の管理番号を御確認ください。
- ※3 申込時に本会正会員の入会手続きをされた場合は、会員価格での御案内が可能です。
- ※4 入会に関する詳細は本会ホームページ、埼玉県社会福祉協議会⇒緑色の「入会について」を御覧ください。

(3) 参加費の支払いについて

- ・払込用紙をお送りしますので、期限内に必ず、支払いを完了させてください。
- ・Webによるオンライン研修にあたっての受講者側のトラブル（環境未整備等）も含め、参加費振込後の返金はいたしませんので御留意ください。
- ・振込手数料は御負担ください。

9 申込方法

本会ホームページ[埼玉県社会福祉協議会](#)⇒オレンジ色の[研修・試験](#)⇒緑色の[福祉の研修](#)⇒[社会福祉援助技術ステップアップ研修](#)をクリック。



※受付完了後、確認メールが届きますので、必ず御確認ください。

（確認メールが届かない場合は、お問い合わせください。）

※申込期限内の変更やキャンセルは、ホームページから手続きをお願いします。

こちらからも↑
アクセス可能です

※「主任介護支援専門員更新研修」の受講要件として参加申し込みをされる方は、必ず申込フォーム【主任介護支援専門員更新研修受講要件として参加】を御確認ください。

10 受講までのスケジュール

No	行程	備考
1	参加のお申し込み	本通知の申込方法を参照ください。 令和3年11月8日（月）9時～11月22日（月）15時
2	受講決定通知の受領	12月3日（金）を目安に、受講決定通知、払込用紙を郵送します。（振込用紙も同封。12月10日（金）までに届かない場合は御連絡ください。）
3	参加費の払込み	振込期日までにお振込みください。 （詳細な期日は受講決定通知に記載）
4	ミーティング ID、パスワード、資料等の受領	参加費入金を確認後、操作確認テスト日の約1週間前を目安にミーティング ID 研修資料及びパスワード等を郵送いたします。

5	操作確認テスト日 (参加任意)	令和4年1月12日(水)14時~15時 受講にあたって、Zoomを利用しながら操作確認を行います。この他、Zoomの操作に関する詳細は、受講が決定された方へ別途お知らせいたします。
6	研修日程	[1日目]令和4年1月17日(月)13時20分~16時40分 [2日目]令和4年1月24日(月)13時20分~16時40分
7	アンケートの提出	研修終了から1週間以内にFAXまたはメールにて御返信をお願いします。

11 事前課題

本研修には事前課題があります。受講が決定した方は、下記に取り組み研修に臨んでください。

- (1) 本会HP埼玉県社会福祉協議会「[研修・試験](#)」の「[福祉の研修](#)」ページにある「[各種研修課題・資料](#)」から課題をダウンロードしてください。テキスト送付時にも同封いたします。
- (2) 面接における基本的傾聴技法(かかわり行動、質問技法、観察技法、はげまし・いいかえ・要約技法、感情の反映技法)の復習もしくは予習。
※お手持ちの本、資料を活用していただいて差し支えありません。
※本や資料が無い場合、ア~エが参考文献として示されています。
 - (ア)『マイクロカウンセリング』川島書店 アレンE.アイビィ著、福原真知子ら訳編(1985)
 - (イ)『マイクロカウンセリングの理論と実践』風間書房
福原真知子・アレンE.アイビィ・メアリB.アイビィ著(2004)
 - (ウ)『ソーシャルワークの面接技術』相川書房 マーガレット・シューベルト著、栗田修司訳(2005)
 - (エ)『ソーシャルワーク実践と面接技法』相川書房 北川清一著(2006)

12 留意点

- (1) 本研修の録画・録音・撮影(スクリーンショットを含む)、および資料の二次利用、SNS等への投稿は固くお断りいたします。
- (2) 本研修内容の盗用が発覚次第、著作権・肖像権侵害等として対処させていただきます。
- (3) 本研修は、無料Web会議システム「Zoom」を利用します。受講にあたって、パソコン等を利用したインターネットへの接続環境を御準備ください。併せて、カメラ・マイクの御準備をお願いいたします(マイクは、イヤホンマイク等でも構いません)。スマートフォン等での参加は、長時間に及ぶことや操作性に難が生じる可能性が高いこと、通信量が大きくなる場合がありますので、御留意ください。Zoomの操作方法等の詳細については、受講が決定した方に対し別途お知らせいたします。
- (4) 申込受付期間終了後、11月22日(月)15時以降の変更・キャンセルはできませんので、十分に御検討の上、お申し込みください。
- (5) 参加費入金後の返金はいたしませんので、御了承ください。

13 問い合わせ先

埼玉県社会福祉協議会 研修開発部 福祉研修課(担当:小坂)
TEL 048-822-1190